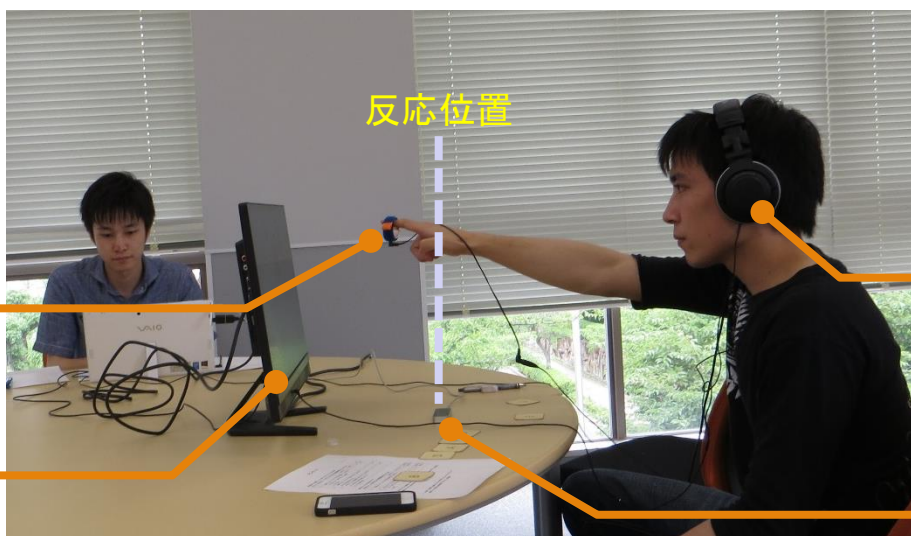


非接触操作における フィードバック反応位置

研究内容

人が機器を操作する際に、その操作に対応したさまざまな**フィードバック**が利用者に対して返されています。それらのフィードバックのうち『**視覚**』『**聴覚**』『**触覚**』に対して返されるものが主になります。この研究では非接触操作時において『**視覚**』『**聴覚**』『**触覚**』をどのような**組み合わせ**でフィードバックすることが**利用者に有効であるか**を明らかにするために研究を進めています。



小型振動
スピーカー
(触覚)

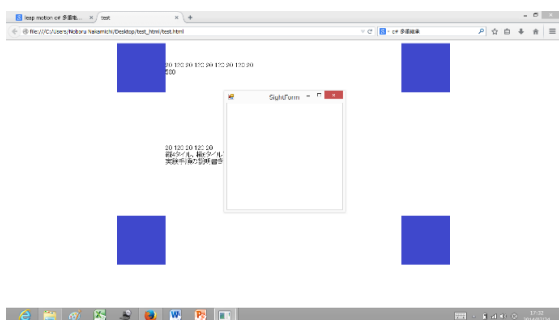
モニター
(視覚)

反応位置

密閉型
ヘッドホン
(聴覚)

Leap motion
controller
(反応位置
検出)

研究の進め方



実験時のパソコンの画面

- 非接触操作のタスク
 - 青色の4つのボックスを順にタップ
- 反応位置のデータ収集
 - Leap motion controllerを利用
- 7パターンのフィードバック
 - 『視覚』『聴覚』『触覚』の3パターン
 - 上記3パターンを組み合わせた4パターン

どうやって評価する？

- 7パターンの反応位置の比較
 - 反応位置が浅いほど反応速度が速い

この研究による効果

- 利用者に対して直感的なフィードバック
 - 新たなフィードバック提示方法の提案
 - 操作しやすい非接触操作の提供

担当 大森 和洋 (おおもり かずひろ)

- ひとつこと: より楽しく快適に過ごせるように些細なことも追求していこう。